

## 令和3年度第4回全国健康保険協会秋田支部評議会議事録

開催日時：令和4年01月13日（木）13：30～15：00

開催場所：アキタパークホテル 2階 ゴールデン

出席者：松渕評議員（議長）、佐々木（宏）評議員、佐野評議員、金子評議員

小林評議員、佐々木（卓）評議員、舘岡評議員、栗盛評議員、近藤評議員（代表別・50音順）

加藤支部長、山本部長、河上部長、青木グループ長、園部グループ長、二田グループ長、

安田グループ長、水口主任、澤ロスタッフ、津田スタッフ（記）

議事録署名人：近藤評議員、佐野評議員（50音順）

### ■ 議事事項

#### 1. 令和4年度秋田支部保険料率について

##### ○ 質疑応答、意見交換等

##### 【被保険者代表】

健康保険制度の在り方という観点から見ても、頻繁に保険料率が変わることは不安定でありセーフティネットといえるのか。10%を維持するという方向で動いてもらいたい。また、インセンティブ制度による減算が貢献しているが、減算される料率の幅が僅少であり、大きく反映しないことが残念である。

##### 【事業主代表】

令和4年度支部保険料率についての異論は特段ないが、社会保険の適用範囲拡大について、どれくらい増える見込みなのか。

##### 【事務局】

適用範囲の拡大については、現在501人以上の短時間労働者が適用になっている。将来的には、101人以上と段階的に下げていくことになっている。令和4年度については、公務員関係の短期労働者が共済組合に加入することが決まっている。実際、どれくらいの数字かについては、資料を持ち合わせていない。次回ご報告させていただく。

##### 【学識経験者】

適用範囲の拡大によって、保険料率はどう変わるのか。

##### 【事務局】

適用拡大の対象者は、比較的医療費がかからない働き世代であるため、保険料率への影響は小さいと考えられる。

##### 【学識経験者】

介護保険料率について、10月から介護報酬が引き上げられることについては反映されているのか。

##### 【事務局】

政府で見込んで試算されている。

### 【学識経験者】

年齢調整-0.63%の中身が手持ちの資料だけでは分からない。

### 【事業主代表】

制度の安定的な運営のためには、この保険料率でやむを得ないと考える。また、法定準備金の積立額について、積立額は一か月分で妥当なのかという話があるが、どれくらいあれば安定的なのか今後の課題として取り組むべきだと考える。

### 【被保険者代表】

平均保険料率については、10%の維持で賛成。頻繁に保険料率を変更すると不安定になり、今後適用拡大で被保険者が増え、保険料率が高くなると雇用計画にも影響するのではないか。また、秋田支部の保険料率は年齢調整や所得調整をしてもこの料率となることが、秋田県の厳しい現実が数字に表れていて残念に思う。

### 【学識経験者】

インセンティブでの減算や健康寿命が伸びたことを、県とも連携しながらもっとアピールしていただきたい。保険料率の10%については、セーフティネットの観点からも安定性を持たせるためにやむを得ない。ただし、法定準備金が積みあがっているため、上限について話し合う場があった方がいい。また、将来を考えると年齢調整と所得調整の算定の見直しも必要となるのではないか。

## ■ 議事事項

### 2. 令和4年度秋田支部事業計画（案）及び保険者機能強化予算（案）について

#### ○ 質疑応答、意見交換等

### 【事業主代表】

協会けんぽの加入者は主に中小企業の方で、秋田支部の保険料率が上がる機会をとらえて、保険料自体が会社の経費となるので、経費を上げないための、健康づくりの活動自体が自分たちの会社の経営に関わることだということを強調すべきと考える。具体的には医療費を減らすために、特定保健指導の実施や健診の受診をすること。早期発見や重症化予防になり、医療費の削減につながる。また、健康経営を推進することで、企業の生産性が向上し、売り上げが増え、従業員の給料が上がり、標準報酬月額も上がることで協会けんぽの収入も増加する。健康経営をしている企業はホワイト企業と認識され、若い方の就業機会も増えることになる。このような仕組みが分かるような資料を用意していただき、加入している全企業がそこに向かって努力するような仕組みが必要と考える。戦略的に繰り返して行えるよう広報をしていただきたい。

### 【事務局】

今後については、事業主向けや医療費適正化につながる広報をしていきたい。

### 【事業主代表】

被保険者に対して、効率的な受診の仕方を広報していただきたい。夜間休日の受診を減らす取り組みや夜間休日以外で受診するのが厳しいのであればオンライン診療・オンライン服薬診療へ切り替えなどがある。また、大きな病院は初診料がかかるので、かかりつけ医を持つことやかかりつけ薬局をもって薬の一元管理を行い、重複投薬を減らすことが医療費削減につながるということを広報していただきたい。また、医療費を減らすことは医療機関に受診したときの自己負担も減るわけなので、賢い患者の在り方を加入者に啓蒙する必要があるのではないかな。

### 【事務局】

秋田県は全国的に見ても、時間外に受診する患者が多い。その他の意見も含めて、今後力を入れて広報していきたい。

### 【学識経験者】

健康経営をなぜ行うのか、流れが分かるように図解にするなど分解して説明した方がいい。

### 【被保険者代表】

被保険者の立場からすると多くの方が保険料や税金は徴収されるものだという考え方をしていると思われる。医療費を抑えることで保険料率を下げるのであれば、この仕組みについての意識を持ってもらえるような広報が必要と考える。

### 【学識経験者】

健康経営は、国全体で医療費を下げるために強制されているような捉え方をしている可能性がある。そうではなく、会社経営や個人、家計にも好影響として表れるということを一人ひとりに落とし込んでいけるような広報をしていく必要があるのではないかな。

## ■ 報告事項

### 1. 健康保険法施行令の一部を改正する政令の一部改正について

- 質疑応答、意見交換等

### 【被保険者代表】

他の評議員がおっしゃったようにそれぞれの立場で、それぞれ努力をしていくことと、インセンティブ制度が保険料率に大きく働くような改正をしていただきたい。

### 【学識経験者】

コロナウイルスの影響で、インセンティブ制度の保険料率はまた据え置かれる可能性はあるのか。

### 【事務局】

来年度もコロナウイルスの影響で議論になる可能性がある。そのときは、ご協議をお願いしたい。

## 2. 更なる保健事業の充実に向けた検討について

- 質疑応答、意見交換等

### 【被保険者代表】

喫煙について、当社でも喫煙する方がいるが、なかなか禁煙に結びつかない。協会けんぽからのポスターを貼っているがなかなか禁煙外来へ通院しない。真冬でも休憩時間に外に出て喫煙している方がいる。様々な方法で禁煙できるように動機づけを支援していただきたい。

### 【事務局】

喫煙者に対して、秋田県の条例は日本一厳しい条例となっている。啓発に向け、県や関係団体と共に取り組んでいきたい。

### 【事業主代表】

健診実施率の向上に向けて、利用者負担の軽減を検討というのは補助を出すということで大変ありがたいが、健診を受けると、どこかのお店で優待が受けられるといったものや、禁煙を成功するとこんなメリットがあるなど協力会社を募って行うのもいいのではないかな。また、SDGsの3番に該当しているため、SDGsの観点から協力会社を募るのもいいのではないかな。

### 【学識経験者】

保険者機能強化アクションプラン（第6期）は令和6年度の話だが、コロナウイルスの影響がなにも触れられていないことが気になる。コロナ禍の影響を分析し、それを踏まえて健診・保健指導の実施に反映させるなど、感染症に対する考え方を盛り込んだほうがいいのではないかな。

■次回評議会の開催 令和4年5月開催予定